

気持ちが伝わる21パターン

I wanna ～／～したい

⇒Wannaの後は必ず動詞の原形がくる。want to「～したい」の口語体で、**願望がよりストレートに表現される。**
⇒**打ち解けた感じ**を出すのにも向いています。カジュアルな表現です。

[例文] I wanna talk to you.
君と話が**したい**。

I wanna catch the bus.
そのバスに乗り**たいんだ**。

I wanna join you.
僕も**参加したいな**

I just wanna tell you, you're not alone.
ただ僕が**言いたい**のは、君は一人じゃないってこと。

I don't wanna lose you.
君を失い**たくないんだ**。

Do you wanna make something of it?
ケンカ売ってんの？

Do you wanna grab a bite?
何か食べ**たい？**

※grab a biteは「軽くぱっと食べる」の意味

What do you wanna do?
何する？／何が**したい？**／何が**したいんだ**(はっきりして)よ。※口調によっては非難ぽく聞こえる。

気持ちが伝わる21パターン

Let me ～／～させて

⇒Let me ～.の基本の意味は「**私に～させてください**」。

⇒Let meの後ろは動詞の原形ですが、すぐ後ろに**前置詞**や**形容詞**、**副詞**などを置く場合もあります。

[例文] **Let me** ask you something.
ちょっと質問**してもいいですか**。

Let me show you this.
これをご覧**ください**。

Let me finish.
最後まで聞いて**ください**。

※自分が話してるときに相手が口を挟んでくる時。「とりあえず最後まで聞いて」というニュアンス。

Let me see you to the exit.
出口までお送り**しましょう**。

Let me have a look.
ちょっと見**せて**。

※Let me look at it. などよりカジュアルな表現。

Let me check.
少しチェック**させてください**。

Let me explain that again.
もう一度説明**しますね**。

※上手く伝わらなかったときなどに。

Let me know if you need any help
何か助けが必要だったら言**ってね**。

気持ちが伝わる21パターン

How about ~ ? / ~はどう？

⇒「～はどう？」「～しませんか？」など**提案や勧誘**を表す。How aboutの後ろは**名詞**または**動名詞**がきます。

⇒Excuse me, but～のように“but”を付けたほうが丁寧です。

[例文] How about you?
 あなたは**どう**？

※相手の意見を聞くときに。I ate dinner. How about you?「もう夕食食べたけど、あなたは？」など。

How about it?
どうかな？

※ちょっとした感想を尋ねるときに。服装、持ち物、提案に対して幅広く使える。

How about going for dinner?
ディナーに行くの**はどうかな**？

How about a drink?
一杯**どう**？

How about making a toast?
祝杯をあげ**ようか**。

How about next Saturday?
次の土曜日は**どうですか**。

How about thinking from other angles?
他の視点から考えて**みたらどうかな**。

How about offering me a beer?
私にビールを**くれない**？

※直訳すると「私にビールをくれるっていうのはどう？」つまり間接的にお願いしている。

気持ちが伝わる21パターン

Why don't you ~ ? / ~したらどうですか？

⇒「しない理由」を尋ねたり、**非難**したりする表現。

⇒「なぜ～しないの」から反語的に「～したら？」と**提案や勧誘**を表すフレーズとしてもよく使います。

〈Why not + 動詞の原形?〉でも同じ意味になります。

[例文]

Why don't you take a rest?

休ん**だ**らどうですか？

Why don't you do it yourself?

どうして自分でや**ら**ないのよ。／自分でやれば**い**いじゃない。

Why don't you stay overnight?

今日は泊ま**っ**たらどう？

Why don't you text him?

彼にメール**し**たらどう？

Why don't you say something?

何とか言**っ**たらどうなのよ。／何を黙**っ**てるの？

Why don't you try to find other job?

他の仕事を探して**み**たらどうかな。

Why not call it a day and have a beer?

もう切り上げて、ビールでも飲**み**ま**し**ょうよ。

"How about a quick bite?" "Why not?"

「軽くメシでもどう？」「**もちろ**ん」

※単なる“Yes”よりも「自分もそう思っていた」という感じが伝わりやすいです。

気持ちが伝わる21パターン

Would you ～ ? / ～してもらえませんか

⇒Will you ～? 「～してくれませんか」同様、「依頼」を表します。より丁寧なので少し頼みにくいときなどに便利なフレーズ。

⇒文脈や状況、後の語句によって「～したいですか」とさりげなく相手の願望を尋ねたり、提案したりする表現としても使えます。

[例文]

Would you say that again?

もう一度言ってもらえますか？

※昔の教科書にあったI beg your pardonは今や絶対言いません。

Would you give me some advice?

少しアドバイスを頂けますか？

Would you do me a favor?

お願いがあるんですが、／頼み事を聞いてもらえませんか。

Would you keep the noise down?

少し静かにしてくださいませんか。

Would you care for Sake?

日本酒は好きですか。

Would you give me a chance?

チャンスをくださいませんか。

Would you ask her to call me back?

折り返し電話をくれるよう彼女に伝えてもらえませんか。

Would you be able to finish this by tomorrow?

明日までにこれを終わらせることはできますか。

※be able toを入れるとより丁寧になります。

気持ちが伝わる21パターン

I hate ～／～が嫌い

⇒〈hate＋名詞／動名詞〉は「～が嫌い」「～すること(自体)が嫌い」という意味。

⇒〈hate＋to＋動詞の原形〉は「これから～するのは嫌」「～したくないんだけど」という意味。

[例文]

I hate rainy days.

私は雨の日が嫌いなんです。

I hate wasting time.

私は時間を無駄にするのが嫌いです。

I hate cruising.

船旅は嫌いなんです。

I hate speaking in front of many people.

私は大勢の人の前で話すのが苦手なんです。

I hate it when it's cold.

私は寒いのが嫌いです。

I hate shopping on holidays, but my mother loves it.

私は休日の買い物嫌いなんですけど、母は大好きなんだ。

I hate to admit it, but that was my mistake.

認めたくはありませんが、それは私のミスです。

I hate to interrupt, but may I ask a question?

お話し中すみませんが、一つ質問をしていいですか。

気持ちが伝わる21パターン

I hope ～／～を願います

⇒〈hope+to不定詞〉は「～することを願います」「～したいです」と**自分の願望**を表す。

⇒〈hope(that)+主語+動詞〉は「**主語が**～することを願う」という意味です。

[例文] I hope to see you again soon.
またお会い**したいです**。

I hope to be promoted soon.
早く昇進**したいです**。

※promoteは「昇進させる」なのでbe promoted と受動態になっている。

I hope you are well.
お元気ですか。

※手紙やメールのあいさつで。

I hope to visit NY someday.
いつかNYに行き**たいな**。

I hope you will get better soon..
早く良くなります**ように**。

※お見舞いなど。

I hope not.
そうじゃ**ない**けど。

※その直前に言われたことを受けて。

I hope our company will make more profit this year.
今年わが社がより多くの利益を生み出せるよう**期待します**。

I hope we can learn something from the incident.
この一件から何か学べると**いいですね**。

気持ちが伝わる21パターン

I have to ～／～しなければならない

⇒have toはmustほど強い意味はなく、より客観的なので、差しさわりがなく無難なのはhave toの方と言えます。

⇒疑問文の“Do I have to ～?”は「～しなければなりませんか」と義務・必然性を聞くだけでなく、「～しなくてもいいですよ」という「反語」の意味もある。

[例文]

I have to go now.

もう行かないといけません。

I have to agree with you.

あなたに同意せざるを得ませんね。

I have to finish the report by tomorrow.

明日までに報告書を上げなきゃいけない。

I have to say something to you.

あなたに言わなければならないことがあります。

※次に来るショックな内容の前置き

Do I have to change train?

電車を乗り継がないといけませんか。

How many times do I have to tell you?

何度言ったらわかるの！

Why do I have to stay here for a month?

どうして1カ月ここにいななきゃいけないんですか。

I have to apologize for my mistake.

私のミスについて謝らねばなりません。

気持ちが伝わる21パターン

I need to ～／～する必要がある

⇒need toは「～する必要がある」ですが、「～しないと困ったことになる」→「～しなきゃ」という内発的なニュアンスがあります。

⇒have toは外的要因によるので、内発的なneed toの方が文脈や前後関係によってやや強いニュアンスになることがあります。

[例文]

I need to go now.

もう行かないと。

I need to talk to you.

あなたにお話があります。／あなたと話す必要があります。

I need to lose weight.

やせなければなりません。

I need to concentrate!

集中しなきゃ！／気が散るよ。

※周りで邪魔する人に向かって

I need to work harder..

もっと仕事を頑張らないとな。

What do I need to do next?

次は何をすべきでしょうか。

You don't need to hurry up.

急ぐ必要はないからね。

I need to pull myself together..

自分を取り戻す必要があります。

気持ちが伝わる21パターン

You don't have to ～／～しなくていい

⇒don't have to ～「～しなくてよい」は、don't need to ～「～する必要はない」と大きな違いはありません。

⇒違いをきちんと押さえておかねばいけないのは、must notは「～してはいけない」(禁止)。

[例文] You don't have to worry about that.
それは心配しなくていいよ。

You don't have to do that.
そんなことしなくていいよ。

You don't have to take it so seriously.
そんなに真面目に受け取らなくていいんだよ。

You don't have to do anything special.
特別なことは何もしなくていいですよ。

You don't have to make excuse!
言い訳はしなくていい！

You don't have to get involved in this.
このことに口出しなくてけっこう。

You don't have to work overtime.
残業しなくていいよ。

You don't have to know everything.
すべてを知る必要はないよ。

気持ちが伝わる21パターン

Should I ~? / ~すべきですか

⇒基本的には「**～をすべきですか**」と、自分がすべきことについて**助言・許可・情報などを求める**フレーズ。

⇒言い方や前後関係によっては「～すべきですか」→「～すべきじゃないでしょう」という意味の「**反語**」になります。

[例文]

Should I wear a suit?
スーツを着る**べき**ですか。

Should I bring anything?
何か持参**しまし**ょうか。

Should I call you back later?
後でかけ直**した方**がいいでしょうか。

Should I or shouldn't I quit the job?
仕事を辞める**べき**か、辞め**ない**べきか。

Why **should** I?
どうして私**が**(やらなきゃいけないの)?

※反語の典型でよく使います。

How **should** I know?
知るわけ**ない**じゃん!

※これも反語。“I”を強く発音します。

By what time **should** I submit the paper?
書類は何時までに提出**す**べきですか。

How **should** I deal with this problem?
この問題にどう対処**す**べきでしょうか。

気持ちが伝わる21パターン

I want ... to ~／…に～してほしい

⇒<want (人) to ~>は「(人)に～してほしい」という意味で、**要求や願望**などを表すフレーズ。

⇒<Do you want me to ~?>は「～してほしいですか」「～してあげましょうか」という**申し出**になりますが、文脈によっては「**反語**」にもなります。

[例文]

I want you to help me.
手伝ってほしいんだけど。

I want you to come here at once.
すぐここに来てほしい。

I want you to tell me more about yourself.
君のことをもっと教えてほしいんだ。

I want you to meet my friends.
友達を紹介したいんだ。

I want you to behave yourself in public.
君には人前で行儀よく振る舞ってほしい。

I want you to play an important role in our company.
あなたには会社で重要な役割を果たしてほしいんです。

Do you want me to open the window?
窓を開けましょうか？

What do you want me to make for lunch?
お昼、何作ってほしい？

気持ちが伝わる21パターン

I'd like to ～／～したい

⇒I'dはI wouldの略。「～したい」という意味で、自分の**意思や願望**を伝えるのに便利なフレーズ。

⇒I'd like toはI want toよりも**丁寧な表現**です。

[例文]

I'd like to say something.

ちょっと言**いたい**ことがあります。

I'd like to thank you.

お礼を**したい**です。

I'd like to go on a trip abroad.

海外旅行に行き**たい**です。

I'd like to ask you out.

デート**しませんか**？

※ask 人 out で「デートに誘う」

I'd like to do something different.

何か違うことを**したい**ですね。

I'd like to have a word with you.

少しお話し**したい**のですが。

※have a word with ～ ～と少し話す

I'd like to know more details about the project.

そのプロジェクトについてもっと詳細を知り**たい**です。

I'd like to make sure of the departure time.

出発時間を確認**しておきたい**んですが。

気持ちが伝わる21パターン

I'd rather ～／むしろ～したい

⇒漠然と他のことと比較して「**他の何かよりは**」という意味を含んでいます。I'd ratherの後は動詞の原形。

⇒〈I'd rather A than B〉は比較の対象が明確で、「BするよりはAしたい」の意味になります。

[例文]

I'd rather do it myself.

むしろ自分でやりますよ。

I'd rather stay home.

なんだか家にいたいな。

I'd rather go to see a movie.

映画を観に行く方がいいな。

I'd rather do nothing today.

今日はなんだか何もしたくありません。

I'd rather die than live without you.

あなたなしで生きるくらいなら死んだ方がましです。

I'd rather not.

どちらかというとやりたくないな。

※notは、その前の文の動詞を否定している。

I'd rather not discuss it.

どちらかというとその話はしたくないな。

※否定文は〈I'd rather not ＋動詞の原形〉。

I'd rather be deceived than deceive.

だますよりはだまされる方がまだよ。

気持ちが伝わる21パターン

I can't help ~／～せざるをえない・せずにはいられない

⇒このhelpは「避ける」「控える」という意味なので、「～するのを避けられない」「～することを控えることができない」、つまり「**抑えたくても抑えきれない**」「**どうしてもしてしまう**」ことを表現するときに使います。can't helpの後ろは**名詞または動名詞**が続きます。
⇒think、feel、wonderなど「**思考や感情**」を表す**言葉**と組み合わせ、遠回しに懸念や意見を伝える場合にもよく使います。

[例文]

I can't help laughing at all.
それは笑う**しかない**ね。もう笑わずには**いられない**ね。

I can't help wondering why.
不思議で**しょうがない**です。

I can't help worrying about daughter.
娘のことを心配**せず**に**いられない**。

I can't help feeling sorry for her.
彼女が気の毒で**しかたがない**。

I can't help making fun of him.
つい**彼の**ことを**からかっちゃうの**。

I can't help questioning the plan.
その計画には疑問を持た**ざるをえ**ません。

I can't help thinking about him.
どうしても**彼の**ことを**考えてしまう**んです。

I couldn't help smiling at her.
彼女について微笑**んでしまった**よ。

気持ちが伝わる21パターン

I'm dying ～／～したくてたまらない

⇒be dying for ～で「～が欲しくてたまらない」というモノや事への強い願望を表します。

⇒be dying to do ～というようにto不定詞を使って「～したくてたまらない」という行為や動作に関する強い願望を表すことができます。

[例文]

I'm dying for a beer.

ビール飲みてえなあ～。

I'm dying for a cup of tea

お茶が欲しくてたまらない。

I'm dying for a ramen.

ラーメンが食いてえ～。／ラーメンが死ぬほど食いたい。

I'm dying for a day off.

ああ、休みが欲しい。

I'm dying to know the truth.

どうしてもその真実が知りたいんだ。

I'm dying to see you smile.

君の笑顔がどうしても見たいんだ。

I'm dying to see "Star Wars".

あ～「スターウォーズ」が超観たい。

※see 人 動詞の原形 で「人が～するのを見る」

気持ちが伝わる21パターン

I'm willing to ～／喜んで～する ～する覚悟がある

⇒be willing toの後ろには必ず動詞の原形がきます。

自発性を表すフレーズですが、I'm glad to ～「喜んで～する」「～できてうれしいです」のように積極性までは感じられません。
⇒文脈や前後関係、口調によっては強い覚悟を表す場合もあります。

[例文]

I'm willing to help you.
喜んでお手伝いしますよ。

I'm willing to go with you.
喜んでお供しますよ。

I'm willing to die for you.
君のためなら死んでもいい。

I'm willing to take the risk.
危険は承知の上だ。

I'm willing to hear you out.
君の話は全部聞くつもりだ。

※hear out 話をすべて聞く

I'm willing to take responsibility if necessary.
必要とあらば進んで責任を取るつもりです。

I'm not willing to compromise on quality.
品質で妥協するつもりはない。

I'm not willing to see her parents.
彼女のご両親に会うのは気が進まないなあ。

気持ちが伝わる21パターン

I wonder ～／～だろうか

⇒動詞のwonderは、〈I wonder＋疑問詞(when / where / what / who / which / how)〉の形で、あることについて「**考えたり推測したりするけれど、もっと知りたいと思う**」という気持ちを表現します。
⇒wonder at ～「～に驚く」、wonder about ～「～に疑問がある」のように「**驚き**」や「**いぶかしく思う気持ち**」なども表します。

[例文] I wonder why she knows that.
なぜ彼女はそれを知っている**んだろうか**。

I wonder why...
どうして**なんだろう**。

I wonder why I did it.
どうしてそんなことしてしまった**んだろう**。

I wonder how she made it.
彼女はどのようにやって成功した**んだろう**。

I wonder when this building will be completed.
このビルはいつ完成する**んだろう**。

I wonder if she'll accept my offer.
彼女は私の申し出を受けてくれる**だろうか**。

I wonder about the truth of the annual report.
年次報告書の真偽については**疑わしい**。

I couldn't help wondering at his skill.
彼の技術には**驚く**しかなかった。

気持ちが伝わる21パターン

I wish ～／～ならいいのに

⇒仮定法過去の〈wish＋主語＋過去形〉は、今現在のことを「～だったらいいのになあ」と、**現状がそうではないと知りつつも強く願望する表現**です。

wishの後ろのbe動詞はwereを使います。

⇒仮定法過去完了の〈wish＋主語＋過去形完了形(had＋過去分詞)〉は、過去のことを「～だったらよかったのになあ」と、**過去の事実と反対のことを強く願望する表現**です。

[例文] I wish I could fly.
飛べ**たら**なあ。

I wish I could.
でき**れば**いい**んだけど**。／残念**だけど**。

※上手く誘いを断るのに使えます。

I wish I were twenty years younger.
あと20歳若か**つたら**なあ。

I wish he would quit the job.
あんなやつ仕事辞めて**しまえ**ばいい**のに**。

I wish every day could be like this.
毎日がこんな**だつたら**なあ。

I wish I could tell you something hopeful.
何か希望的なことが言え**れば**いい**んだけど**。

I wish I had prepared more.
もっと準備**しておいたら**よかった**のに**。

気持ちが伝わる21パターン

If only ～／～でさえあればいいのに

⇒If only ～はI wish ～とほぼ同じですが、**より強い願望**を表すフレーズ。用法はwish同様、現在の事実とは異なることを願望する場合は仮定法過去<If only＋主語＋過去形>、過去の事実とは異なることを願望する場合は仮定法過去完了の<wish＋主語＋過去形完了形(had＋過去分詞)>となります。

⇒仮定法過去完了の<wish＋主語＋過去形完了形(had＋過去分詞)>は、過去のことを「～だったらよかったのになあ」と、**過去の事実と反対のことを強く願望する表現**です。

[例文] If only I had wings.
翼があり**さえすれば**。

If only I knew it.
それを知ってい**ればよかったんだけど**。(知らなくて残念)。

If only life were so simple!
人生がそんな単純なもの**ならいいのに**。

If only I could get back to the past!
過去に戻ることができ**ればいいのに**！

If only I could study in Canada.
カナダに留学**さえできたらなあ**。

If only she could speak English!
彼女が英語**さえ話せたらなあ**！

If only she had told me the truth.
彼女が真実を話してくれ**さえしていたら**。

If only I had the brain to understand the whole project.
プロジェクト全体を理解できる頭があり**さえすればなあ**。

※言い方によっては皮肉に聞こえます。

気持ちが伝わる21パターン

What if 〜?／もし〜ならどうする？

⇒「**問いかけ・不安**」を表すのにとても**シンプル**で**使い勝手のいい**フレーズ。

⇒「**提案**」や「**無関心・反発**」もシンプルに表現できます。

[例文]

What if it rains?

雨が降っ**たら**どうするの？

What if nobody comes?

誰も来なかつ**たら**どうしよう。

What if we get lost?

もし迷**ったら**どうしよう？

But what if you succeed?

でも、もし成功**したら**？

What if we move another bar?

別のバーに行くのは**どう**でしょう。

What if we stop this nonsense?

こんなバカげたことはやめ**たら**どうでしょう。

What if our customers see this?

顧客がこれを見**たら**どう思うだろうか。

What if it works out?

もしうまくい**ったら**どうする？